



外国出張報告書 510

平成 26 年 3 月 31 日

1. 出張国名 ベトナム、ミャンマー
2. 出張月 平成 26 年 2 月～3 月
3. 出張目的 バイオガス・ダイジェスター（BD）の使用に係るモニタリング状況の確認及びモニタリングレポート作成のために必要となる調査の実施
ミャンマーの農林水産業における気候変動の影響を把握するための情報収集及び現地調査の実施 : A

4. 成果の概要

4-1. ベトナム

CDM 事業のモニタリング活動の一環として、2013 年 12 月～2014 年 2 月分の各農家のバイオガス利用実績に係るモニタリング結果のデータを入力、分析した。また、CDM 事業への参加農家がバイオガス・ダイジェスター（BD）を導入したことにより、利用されなくなった調理用の薪の流用（リーケージ）について、カントー大学と打合せを行い、薪の流用の有無を確認するための調査を開始した。さらに、キーファーマー（KF）の能力向上を目的とした KF ミーティングを開催した。

4-2. ミャンマー

理事長インセンティブ（シーズ研究経費）において認められた課題について、現地で農業灌漑省農業研究局（DAR）及びイエジン農業大学（YAU）を訪問し、関連する情報の収集を行った。また、中央乾燥地に属するマングレー管区において、気候変動の影響と農家の対応を確認するために現地調査を行うとともに、あわせて DAR 傘下の農業研究ファームを視察した。